

平成16年11月施行 薬種商販売業認定試験問題

受験番号

採点欄

第 15 問

次の 1 ～ 4 は、消化器系に作用する薬剤である。

それぞれの薬効を【Ⅰ欄】のア～オから、最も関連のある事項を【Ⅱ欄】の a～e からそれぞれ選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

- 1 グリセリン
- 2 銅クロロフィリンナトリウム
- 3 炭酸水素ナトリウム
- 4 臭化チメピジウム

【Ⅰ欄】

- | | | |
|-----------|--------|---------|
| ア 鎮痛、鎮けい薬 | イ 制酸薬 | ウ 粘膜保護薬 |
| エ 浣腸薬 | オ 止しゃ薬 | |

【Ⅱ欄】

- a 便が緑色になることがある。
- b 尿が赤みを帯びることがある。
- c 重篤な心疾患のある人では、症状を悪化させるおそれがある。
- d 多量の牛乳、カルシウム剤との併用により、ミルクアルカリ症候群があらわれることがある。
- e 長期連続投与により精神神経障害があらわれることがある。

(解答欄)

	1	2	3	4
【Ⅰ欄】				
【Ⅱ欄】				

平成16年11月施行 薬種商販売業認定試験問題

受験番号

採点欄

第 16 問

次は鼻炎用内服薬の処方である。これらの成分に関する a ~ e の記述のうち、正しい記述の組合せを【下欄】の 1 ~ 5 から選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

1 日量	6 カプセル中	d-マレイン酸クロルフェニラミン	6 mg
		塩酸プソイドエフェドリン	18.0 mg
		ベラドンナ総アルカロイド	0.4 mg
		塩化リゾチーム	9.0 mg (力価)
		グリチルリチン酸	200 mg
		無水カフェイン	150 mg

- a 塩化リゾチームは、主に炎症をおさえる成分として配合されている。
母乳に移行して乳児の脈が速くなることがあるので、授乳中の人には服用させないように注意する。
- b 塩酸プソイドエフェドリンは、主に鼻づまりをおさえる成分として配合されている。
安全性が問題となった塩酸フェニルプロパノールアミンの代替成分の1つとして配合されている。
- c グリチルリチン酸は、主に炎症をおさえる成分として配合されている。
尿量が減少する、顔や手足がむくむなど偽アルドステロン症の症状があらわれた場合には服用を中止し、直ちに医師の診断を受けるように注意する。
- d ベラドンナ総アルカロイドは、主に頭重をやわらげる成分として配合されている。
副作用として下痢を起こすことがある。
- e d-マレイン酸クロルフェニラミンは、主にくしゃみ、鼻みずなどアレルギー症状をしずめる成分として配合されている。
同じ作用を持つ成分には塩酸ジフェニルピラリンがある。

【下欄】

- 1 (a, b, c)
- 2 (a, b, e)
- 3 (b, c, d)
- 4 (b, c, e)
- 5 (c, d, e)

(解答欄)

平成16年11月施行 薬種商販売業認定試験問題

受験番号

採点欄

第 17 問

次の各問に答えなさい。

なお、解答欄は次ページである。

客 A 「口内炎に効くビタミン剤をください。」

問 1 客 A に対して勧めるビタミン成分として、最も適切な日本薬局方の医薬品の名称を【I 欄】の a ~ g から 1 つ選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

問 2 問 1 の医薬品の別名を【II 欄】の 1 ~ 7 から 1 つ選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

客 B 「日焼けしちゃったのですが、しみを薄くするビタミン剤をください。」

問 3 客 B に対して勧めるビタミン成分として、最も適切な日本薬局方の医薬品の名称を【I 欄】の a ~ g から 1 つ選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

問 4 問 3 の医薬品の別名を【II 欄】の 1 ~ 7 から 1 つ選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

客 C 「冷え性なのですが、血行をよくするビタミン剤をください。」

問 5 客 C に対して勧めるビタミン成分として、最も適切な日本薬局方の医薬品の名称を【I 欄】の a ~ g から 1 つ選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

問 6 問 5 の医薬品の別名を【II 欄】の 1 ~ 7 から 1 つ選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

客 D 「妊娠 3 か月なのですが、ビタミン剤は何を飲んでも大丈夫でしょうか。」

問 7 妊娠 3 か月以内の妊婦に販売する際、特に注意を要するビタミン成分として、最も適切な日本薬局方の医薬品の名称を【I 欄】の a ~ g から 1 つ選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

問 8 問 7 の医薬品の別名を【II 欄】の 1 ~ 7 から 1 つ選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

【I 欄】

- | | | |
|------------|---------------|----------|
| a アスコルビン酸 | b パルミチン酸レチノール | c 塩酸チアミン |
| d トコフェロール | e エルゴカルシフェロール | |
| f 塩酸ピリドキシン | g アミノエチルスルホン酸 | |

【II 欄】

- | | | |
|-----------------------|-----------------------|---------------------------|
| 1 ビタミン B ₆ | 2 ビタミン D ₂ | 3 ビタミン C |
| 4 タウリン | 5 ビタミン E | 6 ビタミン B ₁ 塩酸塩 |
| 7 ビタミン A パルミチン酸エステル | | |

平成16年11月施行 薬種商販売業認定試験問題

受験番号

採点欄

第 17 問(続き)

(解答欄)

問1	
問2	
問3	
問4	
問5	
問6	
問7	
問8	

平成16年11月施行 薬種商販売業認定試験問題

受験番号

採点欄

第18問

次の1～5は、ヒトの微量必須元素に関する記述である。

にあてはまる微量元素を解答欄に記入しなさい。

1 ① は、ヘモグロビンやミオグロビンなどヘムたん白質の成分として酸素運搬や細胞内呼吸に関与する。

欠乏すると貧血を引き起こし、過剰疾患としては、ヘモクロマトーシス（血色素症）がある。

2 ② は、チロキシン及びトリヨードチロニンの成分である。

この物質の欠乏症としては、甲状腺腫やクレチン症がある。

3 身体は、炭酸脱水酵素やアルコール脱水酵素の成分である2～3gの ③ を含んでいる。創傷の修復などの機能をもち、この物質が欠乏すると発育不全や味覚障害を引き起こす。

4 ④ は、腸内細菌によるビタミンB₁₂の合成に必要な金属である。

この物質の欠乏症としては悪性貧血がある。

5 ⑤ は、通常体内では骨や歯に存在し、骨や歯を強化する。

多量に摂取すると斑状歯となる。

(解答欄)

①	②	③	④	⑤

平成16年11月施行 薬種商販売業認定試験問題

受験番号

採点欄

第 19 問

次は、漢方製剤の小柴胡湯の処方に用いられる生薬に関する記述である。

にあてはまる語句を解答欄に記入しなさい。

小柴胡湯の処方に用いられる生薬は、 ①、 ②、 ③、オウゴン、ハンゲ、ショウキョウ、サイコである。

- 1 ① は、マメ科の植物の根及びストロンを用いたもので鎮痛鎮けい、去痰作用を持つ。
- 2 ② は、ウコギ科の植物の細根を除いた根を用いたもので保健強壮・健胃作用を持つ。
- 3 ③ は、クロウメモドキ科の植物の果実を用いたものでかぜ薬や鎮痛鎮けい薬、健胃消化薬などの漢方処方に用いられる。
- 4 オウゴンはシソ科の植物であるコガネバナの周皮を除いた ④ を用いたもので消炎、健胃の効果を持つ。
- 5 ハンゲ（半夏）は、サトイモ科のカラスビシャクのコルク層を除いた ⑤ を用いたもので健胃消化薬、鎮吐薬などの漢方処方に用いられる。

(解 答 欄)

①	②	③	④	⑤

受験番号

採点欄

第 20 問

次は、消化器官に関する記述である。次の各問に答えなさい。

① は、 ② 、空腸及び
 ③ から構成されている。

④ は、 ⑤ 、結腸及び
 ⑥ から構成されている。

② では、胃から送られてきた
消化物が胆汁や膵液と混ぜ合わされる。
⑦ ⑧

食べ物に含まれている栄養素のほとん
どが ① で吸収される。

【消化器官の概観】

問 1 にあてはまる字句を解答欄に記入しなさい。

(解答欄)

①	②	③
④	⑤	⑥

問 2 下線⑦及び⑧が作られる臓器を【消化器官の概観】図のア～エからそれぞれ選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

(解答欄)

⑦	⑧
---	---

平成16年11月施行 薬種商販売業認定試験問題

受験番号

採点欄

第 22 問

次の1～4は、最近1年間に厚生労働省の「医薬品・医療用具等安全性情報」に使用上の注意の改訂が掲載された一般用医薬品である。

各医薬品について最近1年間の「医薬品・医療用具等安全性情報」に収載された使用上の注意の追加内容として最も適切なものを【Ⅰ欄】のア～エから選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

また、それぞれにあてはまる主な症状を【Ⅱ欄】のA～Dから選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

- 1 茵陳蒿湯
- 2 防風通聖散
- 3 塩酸ロペラミドを含有する製剤
- 4 グルコン酸クロルヘキシジンを含有する製剤（口腔内適応を有する製剤）

【Ⅰ欄】

- ア まれに肝機能障害が起こることがあり、その場合は直ちに医師の診療を受けること。
- イ まれに間質性肺炎が起こることがあり、その場合は直ちに医師の診療を受けること。
- ウ まれにショック（アナフィラキシー）が起こることがあり、その場合は直ちに医師の診療を受けること。
- エ 服用後、精神神経系の症状があらわれた場合は直ちに服用を中止し、医師に相談すること。

【Ⅱ欄】

- A めまいがあらわれる。
- B 使用後すぐにじんましん、浮腫、胸苦しさ等とともに、顔色が青白くなり、手足が冷たくなり、冷や汗、息苦しさ等があらわれる。
- C せきを伴い、息切れ、呼吸困難、発熱等があらわれる。
- D 全身のだるさ、黄疸（皮ふや白目が黄色くなる）等があらわれる。

(解答欄)

	1	2	3	4
【Ⅰ欄】追加内容				
【Ⅱ欄】主な症状				

平成16年11月施行 薬種商販売業認定試験問題

受験番号

採点欄

第 23 問

次の1～4はいわゆる健康食品に関する記述である。

にあてはまる字句を解答欄に記入しなさい。

- 1 本年7月、ダイエット食品を飲んでいた女性の死亡事例があった。
この健康食品から海外で ① 治療薬として承認されているシブトラミンが検出された。
日本では、シブトラミンは医薬品成分に該当し、食品への使用が認められていない。
- 2 本年7月、独立行政法人国立健康・栄養研究所は ② について、ダイエット効果の根拠がないとして、取りすぎに注意するようホームページで呼びかけを始めた。
 ② に含まれるマグネシウムは多量に摂取すると下痢を起こすことがある。
- 3 本年4月、都内の医療機関から、健康食品の摂取との関係が疑われる事例が都に寄せられた。
この食品には、基礎代謝を亢進させるため、過去に「やせ薬」として乱用されていた ③ が含有されていることが判明した。
- 4 昨年12月、東京都がいわゆる健康食品として販売されていたものを調査したところ、日本で ④ 治療薬として承認されている成分と類似の成分であるホモシルデナフィルが検出された。
ホモシルデナフィルは医薬品成分に該当し、食品への使用は認められてない。

(解 答 欄)

①	②	③	④
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

平成16年度 薬種商販売業認定試験 (実地試験)

◎ 指示があるまで開いてはいけません。

注意事項

- 1 問題は全部で第1問から第5問まであります。本問題は第1問から第3問までの5ページあります。
第4問及び第5問の問題は後で配布します。
- 2 第1問から第3問までの試験時間は、午後1時30分から2時までの30分です。
- 3 1ページの所定の場所に氏名と受験番号を記入してください。また、2ページ以降の各ページにも必ず受験番号を記入してください。
- 4 解答は問題用紙の解答欄に記入してください。
- 5 解答には、鉛筆又はシャープペンシルを使用し、楷書ではっきりと記入してください。
- 6 問題の内容については、質問を受け付けません。

第4問及び第5問は、グループに分かれて、別室に移動して行いますので、第1問から第3問の試験終了後は係員の指示に速やかに従ってください。

なお、本試験会場には戻ることはできませんので、忘れ物の無いように各自荷物を持って移動してください。

移動する際は、係員が受験番号を呼びますので、それまでは席を立たないようにしてください。

平成16年11月施行 薬種商販売業認定試験問題

受験番号 氏名 採点欄

第 1 問

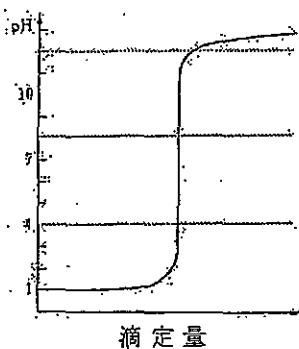
次の各問に答えなさい。なお、解答欄は次頁である。

問 1 次の 1 ～ 3 の中和滴定を行った際の滴定曲線を【I欄】のア～カからそれぞれ選び、該当する記号を解答欄に記入しなさい。

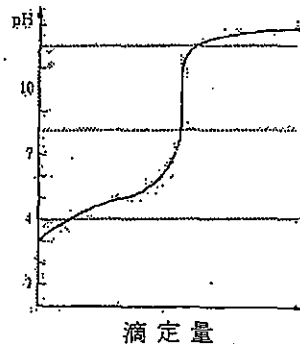
また、1 ～ 3 の中和滴定の指示薬として使用可能な試薬を【II欄】の a ～ c から全て選び、該当する記号を解答欄に記入しなさい。ただし、適当な指示薬は一つとは限らない。

- | | |
|---|---------------------------------------|
| 1 | 0.1 N のアンモニア水を 0.1 N 塩酸で滴定する。 |
| 2 | 0.1 N の酢酸水溶液を 0.1 N 水酸化ナトリウム水溶液で滴定する。 |
| 3 | 0.1 N の水酸化カリウム水溶液を 0.1 N 塩酸で滴定する。 |

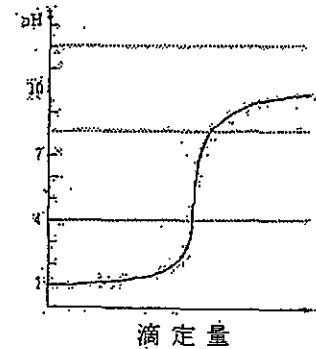
【I欄】



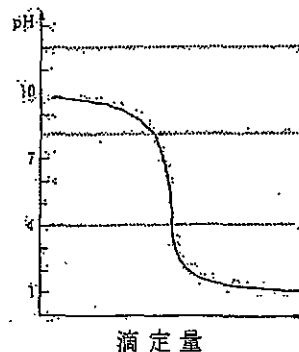
ア



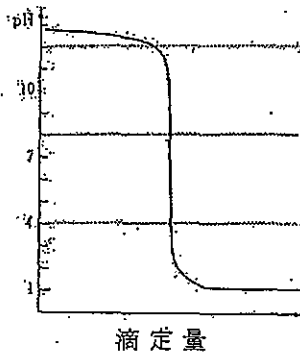
イ



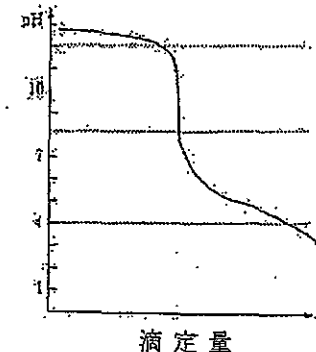
ウ



エ



オ



カ

【II欄】

- | | | | |
|---|----------------------------|---|--------------------------------|
| a | メチルオレンジ (変色域: pH3.1 ~ 4.4) | b | フェノールフタレイン (変色域: pH8.2 ~ 10.0) |
| c | メチルレッド (変色域: pH4.2 ~ 6.3) | | |

受験番号

採点欄

第 1 問(続き)

問2 次の各問に答えなさい。

酢酸溶液を水酸化ナトリウム溶液で中和滴定を行うことになった。

まず、水酸化ナトリウム () g を量り、水に溶かしてその体積を器具 ① を用いて 1 L にし、0.1 mol/L に調整する。

次に、酢酸溶液を器具 ② を用いて正確に 10.0 mL はかり、器具 ③ に移し、そこに指示薬を数滴加えた。

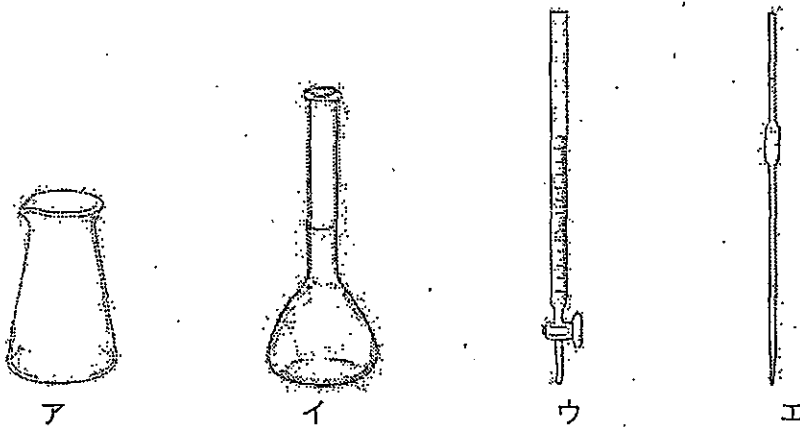
水酸化ナトリウム溶液を器具 ④ に入れ、滴定を行った。

(1) 量りとした水酸化ナトリウムは何 g か、解答欄に記入しなさい。

ただし、原子量は、Na = 23、O = 16、H = 1、C = 12 とする。

(2) にあてはまる器具を【図】のア～エからそれぞれ選び、該当する記号を解答欄「器具」に記入しなさい。さらに、選んだ器具の名称を解答欄「器具の名称」に記入しなさい。

【図】



(解答欄)

問1	1	2	3
【I欄】			
【II欄】			

問2 (1)

問2 (2)	①	②	③	④
器具 (【図】の記号)				
器具の名称				

平成16年11月施行 薬種商販売業認定試験問題

受験番号

採点欄

第 2 問

次は、下記処方¹の乗り物酔い予防薬（内用液剤）を求めた客と店員との会話である。

問1～問6に答えなさい。

なお、解答欄は次頁である。

1 回量 20 mL 中

塩酸ジフェンヒドラミン 30 mg

臭化水素酸スコポラミン 0.1 mg

無水カフェイン 30 mg

客：「このお薬はいつ飲めばいいですか。」

店員：「乗り物酔いの予防には、乗車又は乗船の（①）にお飲みください。」

客：「かゆみ止めとして「塩酸ジフェンヒドラミン」というお薬を病院でもらって服用していますが、一緒に飲んでも大丈夫ですか。」

店員：「②」

客：「どうして乗り物酔いにかゆみ止めが入っているのですか。」

店員：「③」

問1 （①）に当てはまる字句として最も適当なものを次の a～e から1つ選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

[a 直後 b 約30分後 c 約2時間後 d 約30分前 e 直前]

問2 「②」で店員が説明すべき内容を解答欄に記入しなさい。

問3 「③」で店員が説明すべき内容を解答欄に記入しなさい。

問4 「塩酸ジフェンヒドラミン」について、乗り物酔いの予防とかゆみ止め以外の効能及び効果を2つ解答欄に記載しなさい。

問5 次の a～c の記述のうち、正しいものを全て選び、その記号を解答欄に記載しなさい。

- a 効き目が弱いと感じたときは、2倍量まで増やして一度に服用してもかまわない。
- b 服用後に車の運転をしても差し支えない。
- c 「臭化水素酸スコポラミン」には顔のほてり、異常なまぶしさ、排尿困難の副作用がある。

問6 内用液剤の保管について、一般的に注意すべき事項を2つ解答欄に記載しなさい。

平成16年11月施行 薬種商販売業認定試験問題

受験番号

採点欄

第 2 問 (続き)

(解答欄)

問1

問2

問3

問4

問5

問6

平成16年11月施行 薬種商販売業認定試験問題

受験番号

採点欄

第3問

次は、日本薬局方の医薬品各条に記載されている品目の性状及び本質に関する記述である。

次の(1)～(8)について、日本薬局方名を【I群】のア～ケから、また、適用を【II群】のa～iからそれぞれ選び、該当する記号を解答欄に記入しなさい。

- (1) 本品は無色の結晶又は白色の粒若しくは結晶性の粉末である。本品は乾燥空气中で風解する。
- (2) 本品は無色又は白色の結晶又は結晶性の粉末で、においはなく、味は塩辛い。
- (3) 本品は無色～白色の結晶又は結晶性の粉末で、においはなく、味は甘い。
- (4) 本品は無色又は白色半透明の結晶、結晶性の粉末又は塊で、特異な芳香があり、味はわずかに苦く、清涼味がある。
- (5) 本品は白色の結晶、粒又は粉末で、においはなく、わずかに酸味がある。本品は湿った空气中で徐々に加水分解してサリチル酸及び酢酸になる。
- (6) 本品は淡黄色～黄色の粉末で、におい及び味はない。
- (7) 本品は黄色～だいたい黄色の結晶で、わずかににおいがある。
- (8) 本品は淡緑色の結晶又は結晶性の粉末で、においはなく、味は収れん性である。

【I群】 (日本薬局方名)

ア	アスピリン	イ	イオウ	ウ	塩化カリウム
エ	果糖	オ	dl-カンフル	カ	クエン酸
キ	シアノコバラミン	ク	リボフラビン	ケ	硫酸鉄

【II群】 (適用)

- a 本品は、角化性皮膚疾患治療薬、寄生虫性皮膚疾患治療薬としてかいせん、瘡瘍及び脂漏などに用いる。
- b 本品は、緩衝・矯味・発泡の目的で調剤に用いる。また、リモナーゼ剤の調剤に用いる。
- c 本品は、筋肉痛、挫傷、打撲、捻挫、皮膚そう痒症の局所刺激、血行の改善、消炎、鎮痛、鎮痒に用いる。
- d 本品は、降圧利尿剤、副腎皮質ホルモン、強心配糖体、インスリンなどの連用時のカリウムの補給に用いる。
- e 本品は、鉄欠乏性貧血に用いる。
- f 本品は、糖尿病及び糖尿病状態時のエネルギー補給に用いる。
- g 本品は、歯痛、関節痛、筋肉痛、捻挫痛、打撲痛、頭痛、月経痛や急性上気道炎の解熱・鎮痛に用いる。
- h 本品は、ビタミンB₂欠乏症の予防及び治療に用いる。
- i 本品は、ビタミンB₁₂欠乏症の予防及び治療に用いる。

(解答欄)

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)
【I群】 日本薬局方名								
【II群】 適用								

平成16年11月施行 薬種商販売業認定試験問題

受験番号 氏名 採点欄

第4問

机上の検体を鑑別し、日本薬局方名を【Ⅰ群】の1～9から、また、その適用を【Ⅱ群】のア～クから、さらに、その検体の取り扱い上の注意を【Ⅲ群】のA～Eからそれぞれ選び、該当する番号又は記号を解答欄に記入しなさい。

【Ⅰ群】(日本薬局方名)

- | | | |
|---------------|-----------------|------------|
| 1 チンク油 | 2 イオウ・カンフルローション | 3 グリセリンカリ液 |
| 4 複方ヨード・グリセリン | 5 オリブ油 | 6 サリチル酸メチル |
| 7 消毒用フェノール水 | 8 チアントール | 9 アンモニア水 |

【Ⅱ群】(適用)

- ア 本品は、芳香苦味健胃薬として消化不良、食欲不振などに他剤と配合して用いる。
- イ 本品は、皮膚軟化剤として皮膚のひび、あかぎれなどに用いる。
- ウ 本品は、食欲増進、強壯、興奮、下痢、不眠症、無塩食事療法に用いる。
- エ 本品は、関節痛、筋肉痛、打撲、捻挫に対する鎮痛・消炎に、5%又はそれ以上の濃度の液剤として用いる。
- オ 本品は、扁桃のはれ、痛みに用いる。
- カ 本品は、去痰薬として、気道内の痰を排除するために用いる。
- キ 本品は、皮膚の保護、日焼け炎症の防止、やけど、かぶれに用いる。
- ク 本品は、小範囲の湿疹・皮膚炎、やけどによる潮紅に用いる。

【Ⅲ群】(取り扱い上の注意)

- A 連用により少しの刺激にも侵されやすくなるため、長期間の使用は避けること。
- B 使用の際は水銀製剤の服用、塗布などは避けること。
- C 10℃以下で、にごりやかたまりを生じるが品質に変わりなく、その場合は容器を温湯で温め、溶かしてから使用すること。
- D 長く静置すると分離するため、よくかき混ぜて使用すること。
- E 皮膚から速やかに吸収されるので、大量使用で頭痛、悪心・嘔吐、食欲不振、頻脈などの症状が現れることがある。

(解答欄)

	検体1	検体2	検体3	検体4	検体5
【Ⅰ群】 (日本薬局方名)					
【Ⅱ群】 (適用)					
【Ⅲ群】 (取り扱い上の注意)					

平成16年11月施行 薬種商販売業認定試験問題

受験番号 氏名 採点欄

第 5 問

机上の生薬を鑑定し、日本薬局方名を解答欄に記入しなさい。また、その生薬の記述として正しいものを【I群】のア～クから、さらにその基原植物の科名を【II群】の1～8からそれぞれ選び、該当する記号又は番号を解答欄に記入しなさい。

【I群】(記述)

- ア 本品は、主成分として配糖体 arbutin 7.0～10.0%を含み、煎剤として尿路防腐の目的で内服することがある。
- イ 本品は、フラボン配糖体 (quercetin-glucorhamnoside、kaempferol-glucorhamnoside) などを含み、緩下薬とし、配合剤の原料とする。
- ウ 本品は、アルカロイド sinomenine を主成分とし、鎮痛薬、利尿薬とみなされる漢方処方に配合されている。
- エ 本品は、精油 (主成分は *d*-limonene 90%以上、フラボノイド配糖体 (hesperidin)、そのほかに synephrine などを含み、健胃消化薬、鎮咳去痰薬とみなされる漢方処方等に配合されている。
- オ 本品は、アントラキノン誘導体 (emodin) を含み、整腸薬とし、便通を目的として煎用される。
- カ 本品は、タンニンが有効成分とみなされ、その主成分として geraniin が報告されている。整腸薬として、主として止瀉を目的として煎用される。
- キ 本品は、精油 (methyleugenol、asaryl keton) などを含み、鎮咳去痰薬、鎮痛薬とみなされる漢方処方等に配合されている。
- ク 本品は、精油 (主成分は cinnamaldehyde) を含み、かぜ薬、鎮痛鎮けい薬、解熱鎮痛消炎薬、動悸抑制薬、保健強壯薬、婦人薬とみなされる漢方処方等に配合されている。

【II群】(科名)

- | | | | |
|--------|----------|--------|------------|
| 1 ミカン科 | 2 キク科 | 3 バラ科 | 4 ツツラフジ科 |
| 5 セリ科 | 6 フウロソウ科 | 7 ツツジ科 | 8 ウマノスズクサ科 |

(解 答 欄)

	検体 1	検体 2	検体 3	検体 4	検体 5
日本薬局方名					
【I群】 (記述)					
【II群】 (科名)					